



## 理工学専攻都市基盤工学コースの大学院生が優秀発表賞を受賞

### 【概要】

一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会が主催する第9回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウムで、理工学専攻都市基盤工学コース修士課程2年の栗林 嶺 さんが、優秀発表賞を受賞しました。

### 【本文】

一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）主催の「第9回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム」が、2021年12月18日（火）にオンライン開催されました。本学会は、昭和58年11月に設立され、土木構造全般に関する諸問題を会員の専門もしくは職場にとらわれず、自由な立場で討議し、本法人が行う調査・研究・開発に参加あるいは協力することにより、会員相互の技術知識の向上と交流を図り、土木工学の発展に寄与することを目的としています。

今回、20件の発表の中から、理工学研究科理工学専攻都市基盤工学コース修士課程2年の栗林 嶺さんが口頭発表した「テンセグリティの超大変位・大変形シミュレーションに関する研究—形態解析から応力変形・動的解析に至る汎用アルゴリズム開発—」が、優秀発表賞を受賞しました。

本研究では、仮要素を用いた形状探索プロセスから、超弾性要素を用いたテンセグリティの畳み込みと展開の静的解析、及び動的解析のシミュレーションプロセスまで一貫して実行できるアルゴリズムを開発しました。また、アニメーションを駆使したプレゼンテーションでは、これまでにない大変位系の挙動をわかりやすく説明し、高く評価されました。

### ○優秀発表賞

理工学専攻都市基盤工学コース修士課程2年 栗林 嶺 さん(指導教員:帯屋 洋之 教授)

発表題目: テンセグリティの超大変位・大変形シミュレーションに関する研究

—形態解析から応力変形・動的解析に至る汎用アルゴリズム開発—

著者: 栗林 嶺, Cho Kyi Soe, 帯屋 洋之

発表情報: 第9回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム

ホームページ: <http://kabse.com/event.html#7>